

慶應義塾の建築プロジェクト展覧会

谷口吉郎と 日吉寄宿舍

TANIGUCHI YOSHIRO AND KEIO UNIVERSITY HALL OF
RESIDENCE HIYOSHI, KEIO UNIVERSITY ART SPACE, 2013

2013年2月18日 [月]—22日 [金] 10:00—18:00
慶應義塾大学アート・スペース

慶應義塾大学 日吉寄宿舍 北寮 廊下 [撮影-新良太]



料金別納郵便

谷口吉郎と 日吉寄宿舎

慶應義塾の建築プロジェクト展覧会



会場

慶應義塾大学アート・スペース
[東京都港区三田3-2-5] **入場無料**

お問い合わせ

慶應義塾大学アート・センター
03-5427-1621 <http://www.art-c.keio.ac.jp/>
ac-tenji@adst.keio.ac.jp

日吉寄宿舎は1937年、前年に天現寺の幼稚舎を手がけた谷口吉郎によって設計されました。北・中・南の3棟と別棟の浴室からなる寄宿舎は、谷口建築の特徴がよく現れている建築的意匠をもつだけでなく、床下暖房や水洗式トイレなど最先端の設備を整え、竣工当時「東洋一」と称されました。しかしながら、これらの建物が寄宿舎として使用されたのはわずか7年弱のことでした。その後、連合艦隊司令部、戦後は米軍に接収されるという運命を辿ります。返還された後は、中寮のみが寄宿舎として復帰して使用されていました。

そして一昨年、南寮がリノベーションされ、昨年4月から新たな寮生活が始まっています。また、2011年10月にはこの南寮および浴場棟が横浜市認定歴史的建造物に認定されました。このリノベーションを記念して、寄宿舎の過去と現在を写真や図面、竣工記念冊子などの資料で読み解く特別展示を開催いたします。

主催 - 慶應義塾大学アート・センター 協力 - 慶應義塾福澤研究センター